

平成29年度 事務事業評価シート

<b>事務事業名</b>		台東区高齢者住宅生活援助員					所管	都市づくり部 住宅課		
<b>事務事業の概要</b>	行政計画	事業NO.	89	計画事業名	高齢者の居住の安定確保			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進								
		[小 柱] (3)住生活の安定の確保及び質の向上						[終了予定] - 年度		
		[施 策] ①多様なニーズに対応した住まいづくりの促進								
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	台東区高齢者住宅条例・同施行規則、台東区高齢者住宅生活援助員設置要綱					
	事業対象	高齢者住宅及び高齢者住宅入居者								
	事業目的	高齢者住宅に生活相談員(ワーデン)に代わり、生活援助員(LSA)を配置し、入居者に対する生活指導や相談、安否確認等の業務を行い、高齢者の生活のサービスの充実を図る。								
	事業内容	社会福祉士や介護福祉士等の資格を有する生活援助員が、高齢者住宅入居者に対して生活指導・相談、安否確認、緊急時の対応、疾病等に対する一時的な介護、関係機関との連絡、日常生活上の援助を行う。								
委託の有無	全部委託		委託内容	高齢者住宅生活援助員業務委託						
補助金の有無	なし									
<b>事務事業の実績</b>	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度		
	活動指標	導入高齢者住宅棟数		棟	4	1	2	4		
	成果指標									
	決算額 (単位:千円)					1,594	3,188	5,430		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				2,550	2,406	3,567		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				1,594	3,188	5,430		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0		
		総経費				4,144	5,594	8,997		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				1,594	0	0		
一般財源(区負担額)				2,550	5,594	8,997				
前回評価から改善した事項	29年度目標の4棟を適切に運営したほか、入居者へワーデンと比較した満足度調査を実施した。									
<b>評価の視点</b>	評価	評価の理由								
	必要性	4	入居者の状況を把握し、専門的な生活指導、相談業務を実施、適切な福祉サービスの提案を行うことが可能になっている。							
	効率性	3	要綱に基づき、高齢者住宅所在の地域包括支援センターを運営する法人に委託。効率的に実施している。							
	手段の適切性	4	現在導入済みの4棟はすべて、社会福祉のセーフティネットを担う社会福祉事業団に委託しており、適切な入居者対応、福祉部門との連携が円滑に行われており、適切である。							
	目的達成度	4	一般的な相談、管理業務から専門的な生活指導を行い、入居者の状況の変化を早めに把握し、必要な援助につなげることができている。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)							評価結果	今後の方向性	維持	
配置済みの4棟については、通常の管理業務だけではなく社会福祉士等、有資格者の視点により適切な対処を行っている。今後、入居者の状況を鑑みると、委託ワーデンの5棟について順次、LSAへの切替について検討を進めていく。								拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		